

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
2014年度事業報告

当財団の2014年度の事業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

- ① フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。
- ② アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。また、当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設、会場を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い利用に供した。
- ② 関西セミナーハウス活動センターでの公益活動への財政的貢献を行った。

(3) 広報活動

- ① 機関紙「はなしあい」を通して、諸活動（フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等）及び年度事業計画、事業報告等を広く広報した。
- ② 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、ホームページ等によって継続的に情報を発信した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

I 財団本部

1. 組織

- 1) 理事会 理事 5名
- 2) 監事 2名
- 3) 評議員会 評議員 6名

2. 会議

- 1) 理事会 2回 (定時理事会)
- 2) 評議員会 1回 (定時評議員会)

3. 広報

機関紙「はなしあい」発行

4月(553号)、5月(554号)、6月(555号)、7・8月(556号)、9月(557号)、10月(558号)、11月(559号)、12月(560号)、1・2月(561号)、3月(562号)、計10回

4. 収益事業

当財団が持分を有する日本キリスト教会館の占有部分の一部を公益財団法人早稲田奉仕園、日本基督教団出版局、在日大韓イエス教長老会東声弟子教会等に賃貸した。

II 関東活動センター

1. 組織

運営委員会 運営委員 10名

2. 会議 運営委員会 9回

3. プログラム活動

1) フォーラム事業

(1) 関東フォーラム 今日の課題

① シリーズ『『自死』に遭遇した人への慰めとは一牧会の現場から』

講師 賀来 周一 (キリスト教カウンセリングセンター相談室長、元ルーテル神学大学教授)

会場 日本聖書神学校

第1回 2014年4月14日(月) 参加者9名

第2回 2014年5月12日(月) 参加者8名

第3回 2014年6月9日(月) 参加者7名

第4回 2014年7月14日(月) 参加者8名

第5回 2014年8月4日(月) 参加者8名

② シンポジウム「徹底して弱さの上に立つー柏木義円の生涯と思想に学ぶ」

開催日 2014年12月13日(土)

会場 早稲田奉仕園

発表者 片野 真佐子(大阪商業大学教授)

山口 陽一(東京基督教大学教授)

植木 献(明治学院大学准教授)

平井 和子(一橋大学特任講師)

司会 戒能 信生(日本基督教団東駒形教会牧師)

参加者 70名

(2) 関東フォーラム 宗教対話

① シリーズ「古典で読む20世紀」1

講師 武田 利邦(農村伝道神学校講師)

会場 早稲田教会

第1回 2014年5月23日 M.ウェーバー『権威と支配』
参加者8名

第2回 2014年7月25日 K.マルクス『賃労働と資本』
参加者5名

第3回 2014年10月24日 F.ニーチェ『悦ばしき知識』
参加者7名

第4回 2015年1月23日 S.キルケゴール『現代の批判』
参加者6名

② シリーズ「大人に響く絵本」

会場 早稲田教会

第1回 6月27日(金) 講師 増田 琴 参加者8名

第2回 9月26日(金) 講師 太田 春夫 参加者7名

第3回 11月28日(金) 講師 古賀 博 参加者12名

第4回 2月27日(金) 講師 増田 琴 参加者9名

③ 題「イスラエル・パレスチナ問題の真実ー和平構築に向けての一つの試み」

共催 早稲田奉仕園

開催日 2014年7月29日(水)

会場 日本キリスト教会館

講師 岩浅 紀久(ITエンジニアリング代表、JICA パレスチナ中小企業支援技術専門員)

参加者 30名

④ 『並木浩一著作集』完結記念シンポジウム

共催 日本キリスト教団出版局

会場 日本基督教団中渋谷教会

開催日 11月26日(金)

発題者 小友 聡(日本基督教団 中村町教会牧師、東京神学
大学教授)

森本 あんり(国際基督教大学教授)

高橋 一(日本基督教団教師)

奥泉 光(作家)

参加者 約120名

2) 研修・セミナー・体験交流事業

(1) 第6回神学生交流プログラム

開催日 2015年3月16日(木)～18日(土)

会場 東京黙想の家

校長 関田 寛雄(青山学院大学名誉教授)

講師 森 一弘(真生会館理事長、司教)

参加者 8神学校から15名

(2) 聖書を教材として用いる講座Ⅰ(聖書を読む講座Ⅰ)

共催 早稲田奉仕園

会場 早稲田奉仕園スコットホール

題「イエスの世界の女性たち」

講師 山口 里子(日本フェミニスト神学、宣教センター 共同
ディレクター)

第1回 2014年4月8日(火) 参加者22名

第2回 2014年5月13日(火) 参加者23名

第3回 2014年6月10日(火) 参加者22名

第4回 2014年7月8日(火) 参加者17名

第5回 2014年9月9日(火) 参加者18名

第6回 2014年10月7日(火) 参加者20名

第7回 2014年11月11日(火) 参加者16名

第8回 2014年12月9日(火) 参加者19名

第9回 2015年1月13日(火) 参加者22名

第10回 2015年2月10日(火) 参加者18名

(3) 聖書を教材として用いる講座Ⅱ(聖書を読む講座Ⅱ)

題「まちがったっていいじゃないか!の福音書」

共催 早稲田奉仕園

会場 早稲田奉仕園セミナーハウス

講師 柳下 明子(日本聖書神学校教授、武蔵野緑教会牧師)

- 第1回 1月15日(木) 参加者11名
 第2回 2月12日(木) 参加者11名
 第3回 3月19日(木) 参加者13名

Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター

1. 組織

運営委員会 運営委員 11名

2. 会議 運営委員会 8回

3. プログラム活動

1) フォーラム事業

(1) 修学院フォーラム 社会

目的 私達の社会は、いのち、正義、平和、自由を脅かす危険のある重大問題に直面している。これら問題とどう向かい合うべきか、基本に立ち返って考え合う。

第1回 題「科学者の原罪と社会的責任—福島原発事故の本質」

開催日 2014年11月1日(土)

講師 政池 明(京都大学名誉教授、物理学者)

参加者 17名

第2回 題「日本は暗い時代に向かっているのだろうか？

集团的自衛権、特定秘密保護法について考える」

開催日 2014年11月8日(土)

講師 佐藤 優(文筆家)

参加者 65名

第3回 題「エネルギーを考える—原発、この避けて通れない課題と どう向かい合うか」

開催日 2015年1月11日(日)～12日(月祝)

講師 植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科長)
 「原発の安全性、経済性、倫理性」

講師 西原 廉太(立教大学副総長)

「あらゆる核から解放された世界の実現のために—世界の教会が大切にしている視点とは」

参加者 31名

第4回 題「日韓関係の障壁とその打開に向けて」

共催 日本基督教団京都教区大田老會交流委員会

会場 日本基督教団洛南教会

開催日 2015年2月11日(土)

講師 崔 亨默(天安(チョナン)サルリム教会牧師
 韓国神学大学招聘教授)

参加者 38名

(2) 修学院フォーラム いのち

目的 今日の医療・福祉の場において大切な「ケア」についてさまざまな視点からはなしあい、人が人をケアするとはどういうことなのかを考え合う。

第1回 題「“コントロール幻想”と新・優生思想の時代」

開催日 2014年7月19日(土)

講師 児玉 真美(作家)

参加者 12名

第2回 題「福祉とスピリチュアリティ―社会福祉の根源にあるもの」

開催日 2015年1月24日(土)

講師 木原 活信(同志社大学社会学部教授)

参加者 21名

第3回 題「グリーフケアを考える」

開催日 2015年2月28日(土)

講師 高木 慶子(上智大学特任教授、上智大学グリーフケア研究所特任所長)

参加者 79名

(3) 修学院フォーラム 福祉

目的 福祉はひとの誕生から死まで、さまざまな場面でひとと寄り添い、ひととともに生きようとする営みである。介護、終末期医療、葬送など、人生の局面を通して、われわれ自身のいのちと福祉のあるべき姿をともに考える。

第1回 題「認知症・高齢者介護～わが国の医療・福祉のあり方を考える～」

会場 日本基督教団世光教会

開催日 2014年4月19日(土)

講師 中島 健二(京都府立医科大学名誉教授、神経内科医師)

参加者 31名

第2回 題「ほどほどに去る～終末期医療の現場から～」

開催日 2014年5月24日(土)

講師 徳永 進(野の花診療所院長)

参加者 60名

第3回 題「葬儀と墓は誰のために、何のために～キリスト教と仏教の立場から考える～」

開催日 2015年3月7日(土)

講師 塚本 潤一（頌栄短大准教授）
池口 龍法（浄土宗龍岸寺住職）

参加者 29名

2) 研修・セミナー・体験交流事業

(1) 開発教育セミナー

目的 人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。
特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

第1回 題「開発教育入門セミナー」（協力プログラム）

会場 京都市国際交流会館

開催日 2014年6月22日（日）

参加者 79名

第2回 題「縮小社会～これからの私たちの暮らしをデザインする」

開催日 2014年7月12日（土）～13日（日）

講師 松久 寛（縮小社会研究会代表・元京都大学工学部教授）

参加者 20名

第3回 題「非暴力トレーニングを体験する～その理念と実践」

開催日 2014年9月13日（土）～14日（日）

講師 大畑 豊（非暴力平和隊・日本（NPJ）理事）

参加者 15名

第4回 題「映画上映「ある精肉店のはなし」＋ワークショップ 「食卓の牛肉から見える世界」

会場 同志社中学校・高等学校

開催日 2014年11月9日（日）

講師 北出 昭（北出精肉店）

丸山 まり子（開発教育研究会）

参加者 41名

第5回 題「気づきと対話のファシリテーション～アジアの共存と平和」

開催日 2014年12月13日（土）～14日（日）

講師 伊藤 正子（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授）

参加者 16名

(2) お茶のこころと宗教のこころ

目的 お茶を楽しみながら、聖書のみ言を静聴し、お茶と宗教の歴史的な関わりについて学ぶこと。

題 「お茶のこころと信仰～歴史から見えてくる光と陰～」

開催日 2014年7月7日(月)

講師 杉野 榮 (日本バプテスト連盟京都洛西教会協力牧師)

参加者 16名

(3) 展示、講演会事業

もみじまつり

目的 紅葉の美しい季節に、関西セミナーハウスの施設を開放し、お茶、お琴、音楽、美術などを楽しむこと

共催 関西セミナーハウス

開催日 2014年11月23日(日・祝)(展示は22日より)

催し物 お茶席、箏曲、能管の響き、特別展示、講演

担当、演奏、出品者：北風 宗照、藤井 宗恵、裏千家一宇会、岩堀 敬子、廣岡 正久、野中 久美子

来客 389名

IV 関西セミナーハウス

1. 組織

経営委員会 経営委員 6名

2. 会議 経営委員会 4回

3. 特記事項

1) 利用状況

① 年間の宿泊者数 9,017名

② 個人団体比率

団体 7,373名 (81.77%)

個人 1,644名 (18.23%)

2) 公益目的事業と収益事業分類別

(1) 宿泊分類別

① 公益目的事業 4,996名 (55.40%)

② 収益事業 4,021名 (44.60%)

(2) 当日利用分類別

① 公益目的事業 4,621名 (92.49%)

② 収益事業 375名 (7.51%)

(3) 宿泊及び当日利用合計

公益目的事業 9,617名 (68.63%)

収益事業 4,396名 (31.37%)

(以上)